

令和5年度 『地域のつどい』 第3回 松見地区

○開催日:令和5年9月12日(火) ○会場:松見連合会館 ○参加:30名

第21期神奈川区民協議会「地域のつどい」の第三回が松見地区で開催されました。

松見地区は、起伏のある住宅地であり戸建て住宅の多い地区です。JR横浜線大口駅の北西、綱島街道との間に位置しています。地域活動が大変盛んな地区であり、助け合いの仕組みづくりが進められています。

9月5日には、県防犯協会において、松見連合が防犯活動に尽力されたことにより、県知事、県警本部長連盟表彰を授与されました。一方、港北区に接していることから区境特有の問題を抱えている地区でもあります。

今年は関東大震災から100年目の節目に当たる年ということから、当日の話題は防災関係が多くでした。

当日出されたご意見の一部をご紹介します。

- ・ 6町会しかないのに、3か所の拠点に分けられるという問題
- ・ 一人も通学していない学校を拠点に指定される問題
- ・ 区境ゆえ、港北区の小学校にほとんどの児童が通学している問題
- ・ 町会の役員と拠点運営委員を兼任しているために生じる諸問題
- ・ 他の地域防災拠点の運営の仕方等、各種情報開示
- ・ 地域防災拠点における参与の関わり方
- ・ 問題点を何度訴えても改善されない行政の姿勢
- ・ いっつき避難場所選定にあたり、行政からの情報や知恵を
- ・ 馬場インター開設に伴い利便性の向上とともに緑化も進めて欲しい
- ・ 危険な通学路の改善
- ・ 交通弱者への優しき対応を



など、様々なご意見をいただきました。防災に対する高い見識と強い問題意識をお持ちであると強く感じることができました。

松見地区の皆さま、ありがとうございました。